

撰 南 大 学
農 学 部
【専任教員・特任教員】
公募要領(3次)

1. 採用予定人数

○ 食品栄養学科（仮称）	専任教員（教授・准教授・講師）または 特任教員（教授・准教授・講師）	3名
--------------	---------------------------------------	----

※学部・学科の概要については、別紙2「撰南大学農学部の概要」をご参照ください。

2. 主たる担当授業科目

別紙3「撰南大学農学部 教員公募 募集分野一覧」をご確認ください。

3. 採用予定区分・職位

○専任教員（教授・准教授・講師）または特任教員（教授・准教授・講師）

※専任教員の定年：64歳

※特任教員（任期付[4年]更新可）：65歳～70歳 [応募は、67歳未満(2020年4月1日時点)の方に限る]

4. 勤務地

主として、撰南大学枚方キャンパス（大阪府枚方市長尾峠町45-1）

5. 採用予定時期

2020年4月1日を原則とします。

6. 正式採用条件

本公募は、2020年に予定する農学部の新設に伴うものです。そのため、正式採用にあたっては、以下の要件が充足することを条件とします。

- (1) 文部科学省への当該学部の設置認可申請が「認可」されること。
- (2) 前項の設置認可申請に係る教員資格審査において、「適格」と判定されること。
- (3) 厚生労働省への管理栄養士養成施設指定申請に係る教員資格審査において、「適格」と判定されること。

7. 応募資格

以下の要件を満たすこと。

- (1) 本学の「建学の精神」を尊重できる者（別紙1「摂南大学の『建学の精神』」参照）。
- (2) 別紙3「摂南大学農学部 教員公募 募集分野一覧」に記載する「応募要件」を満たす者。
- (3) 優れた研究業績を有する者（国内外の著名な学会誌・ジャーナルに査読付き論文を有することが望ましい）。
- (4) 情熱を持って、教育(学生指導を含む)、研究、社会貢献活動、大学(学部)運営に従事できる者。
- (5) 当該分野における職位に相応の十分な教育研究実績を有する者。

8. 応募方法

(1) 応募フォームの送信

必要事項を入力した本学所定の**応募フォーム**を電子メールに添付のうえ、パソコンから学長室企画課宛に送信してください。

- ・題 名…「摂南大学農学部教員公募応募希望／氏名 ＊＊＊＊＊＊」
- ・送 信 先…E-mail: SETSUNAN.Kikaku@joshu.ac.jp
- ・ファイル名…氏名をご記入ください。

※ファイルにはパスワードを設定のうえ送信ください。設定したパスワードは別途、メールにて当課宛にお知らせください。

※電子メールは選考日時・場所等の案内にも利用します。携帯電話からの送信は連絡が届かない可能性があるためお控えください。

(2) 応募書類の郵送

下記の応募書類を**簡易書留にて送付**してください。

- ①送付状 (本学所定の用紙)
- ②教員個人調書 (文部科学省所定の履歴書・教育研究業績書)
- ③これまでの教育、研究および職務の概要 (A4用紙2枚以内)
- ④教育改善のための実践と抱負 (A4用紙1枚程度)

- ・教育の改善のため過去に実践した事項や、学生の理解度、習熟度を高めることを目的として今後実践したいと考えていることを具体的に記述してください。

⑤今後の研究計画 (A4用紙1枚程度)

- ・今後の研究計画について、具体的に記述してください。

⑥主要な業績 2点 (原本、別冊またはコピー可)

- ・原則として、直近5年以内の業績を含めてください。

⑦応募者本人について意見を聞ける方2名の連絡先等 (任意様式)

- ・氏名、勤務先、職名、電話番号、メールアドレス等連絡が取れる方法を記載してください。

※所定用紙は、摂南大学教員公募情報 (URL : <http://www.setsunan.ac.jp/koubo/>) からダウンロード可能です。

※応募書類のホチキス止めはご遠慮願います。

※提出書類に掲載された個人情報は、採用選考以外の目的に利用することはありません。(ただし、採用者については、採用後の雇用管理のために利用します)

※提出書類は、原則として返却いたしません。採用業務終了後、当課で責任を持ってシュレッダーにより処分します。返却を希望される場合は、本学所定の送付状「伝達事項」欄に「返却希望」と記入のうえ、住所・氏名・電話番号を記入した宅配便の着払用伝票を同封してください。

9. 応募期限

2018年10月22日 (月) 【応募書類必着】

10. 応募書類提出先

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 摂南大学 学長室企画課 宛

※ 封筒表面に「教員応募書類 (農学部○○学科) 在中」と朱書きし、「簡易書留」にて郵送してください。 応募書類のご持参はご遠慮ください。

11. 選考等

- (1) 第1次選考 (書類選考) の結果については、10月下旬に通知する予定です。
- (2) 第2次選考 (面接・模擬授業等) は、2018年11月に実施する予定です。
- (3) 選考の過程で、追加資料や健康診断書等の提出を求めることがあります。
- (4) 第2次選考の結果については、決定次第通知します。

12. 問い合わせ先

摂南大学 学長室企画課 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8

TEL. 072-839-9450 FAX. 072-839-9451 E-mail. SETSUNAN.Kikaku@josho.ac.jp

以上

建学の精神

世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。

教育の理念

建学の精神に則り、全人の育成を第一義として、人間力・実践力・統合力を養い、自らが課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人を育成する。

「農学部」設置の経緯と目的

現代は、世界的には人口増加や食料などの需要増大、国内では農業就業者の高齢化、耕作放棄の拡大、食料自給率の低下などの課題を抱えています。一方で企業の農業参入、ロボット技術・ICT（情報通信技術）・AI（人工知能）を活用した新たな農業などイノベーションの兆しが見られ、食料・農業を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした国内外の情勢を背景にグローバルな視点で食農に関する知識・技能を持ち、食料・農業の課題解決に取り組める人材の必要性は、今後ますます高まると考えられます。

摂南大学ではこれら社会や時代のニーズに応えるべく、2020年4月、「農学部」を設置します。（2019年3月設置認可申請予定）農学部を枚方キャンパスに設置し、既存の薬学部、看護学部とともに、ライフサイエンスの教育・研究ゾーンを構築します。

摂南大学農学部（2020年4月設置構想中）ホームページURL

<http://www.setsunan.ac.jp/nogaku/>

摂南大学農学部の概要

【農学部】

教育研究上の目的	農学に関する社会の諸課題を解決する人間性豊かな専門職業人を養成します。
----------	-------------------------------------

【農業生産学科（仮称）】

教育研究上の目的	環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、あるいは新技術を開発・普及させるために必要な知識と技術ならびに倫理観を身につけ社会に貢献できる人材を養成します。また、研究の対象となる生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究します。
構成する研究室 (予定)	植物遺伝育種科学、作物生産科学、園芸科学、植物病理学、応用昆虫学、生産生態基盤学

【応用生物科学科（仮称）】

教育研究上の目的	生命・生物の諸現象と、その原理とメカニズムを、分子から個体、集団、さらには生態系のレベルで追究し、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸問題の解決に応用できる、広範な知識、豊かな感受性と人間性および創造性を身につけた人材を養成します。
構成する研究室 (予定)	植物分子生物学、植物ゲノム工学、動物機能科学、応用微生物学・発酵科学、植物環境微生物学、バイオーム・情報学

【食品栄養学科（仮称）】

教育研究上の目的	「農学」の学びを基盤として、「食のプロセス（農産物の生産から加工・流通・消費まで）」を体系的に理解することができ、管理栄養士に必要な「食・栄養・健康・医療・食育」の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる管理栄養士を養成します。
構成する研究室 または分野(予定)	公衆衛生学、解剖生理学、調理学、食品加工学、食品衛生学 基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理

【食農ビジネス学科】

教育研究上の目的	国内外の農産物および食品の生産・流通・消費に関する社会経済的な諸課題を解決し、今後のあり方を考えるための幅広い教養と倫理観および農業や食品産業に関する社会科学の専門的な知識を身につけるとともに、それを実践的に活用し農業と食品産業の発展に貢献できる人材を養成します。
構成する研究室 または分野(予定)	食料・農業経済学、食料・農業政策学、農業経営学、地域農業論、食品産業論、食品流通論、食品マーケティング論、食農共生論、循環型農業論、国際農業論

■食品栄養学科（仮称）

以下に示す募集分野のうち、いずれかの分野を担当できることを応募条件とします。

専攻分野	募集分野概要	主たる 担当授業科目	応募要件	職位(人数)
食品学	食品の各種成分や食品の生育・生産から、加工・調理を経て、人に摂取されるまでの過程について、また人体に対しての栄養面や安全面等への影響や評価について、教育・研究を行う。	食品学総論 食品学各論 食品加工学 食品学実験Ⅰ・Ⅱ 食品加工学実験	1. 博士の学位またはそれと同等以上の教育・研究業績を有すること。 2. 食品学あるいは関連の専門分野において、5年以上の教育研究業績があること。	教授または 准教授、 講師 (1名)
公衆衛生学	人間や生活についての理解を深めるとともに、社会や環境が人間の健康をどう規定し左右するか、あるいは人間の健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど社会や環境と健康の関わりについて教育・研究を行う。	公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 健康管理概論 社会福祉論	1. 博士の学位またはそれと同等以上の教育・研究業績を有すること。 2. 公衆衛生学あるいは関連の専門分野において、5年以上の教育研究業績があること。	教授または 准教授、 講師 (1名)
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造や機能および主要疾患の成因、病態、診断、治療等について、教育研究を行う。	臨床病態学 臨床医学概論 解剖生理学 解剖生理学実習	1. 博士の学位またはそれと同等以上の教育・研究業績を有すること。 2. 医師免許を有し、専門分野において、5年以上の教育研究業績があること。	教授または 准教授、 講師 (1名)

※その他、関連科目、学部基礎科目、教養科目、演習（ゼミ）、実験・実習科目等を担当いただくことがあります。